

卓育の食卓 ~12か月 旬の食材と料理を日常の器で~

食育(しょいく)とは、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食を通じて健全な食生活の実現、食文化の継承、健康の確保等が図れるよう、自らの食について考えるための学習等の取り組みを指します。2005年食育基本法において、生きるための基本的な知識である文化、食ができるまでの第一次産業についての総合的な教育を目指しています。この言葉を造語した子どもに食べさせる食品の影響によって子どもの心身を養うという意味で用いたそうです。食卓で共食

月別企画

1月 お正月 我が家流おせちのワンプレート



- ① T72119100-1081104 青郊窯 豆皿 古九谷色絵牡丹文 一客箱入 1,050円(本体価格1,000円) 10.5×2cm (丸谷焼) ① (3202)
- ② T72114100-1081104 青郊窯 豆皿 古九谷色絵石畳文 1,050円(本体価格1,000円) 10.5×2cm (丸谷焼) ① ● (3202)
- ③ T72118100-1081104 青郊窯 豆皿 古九谷青手鶴かた文 1,050円(本体価格1,000円) 10.5×2cm (丸谷焼) ① ○ (3202)
- ④ T72120100-1081104 青郊窯 豆皿 古九谷青手土坡に牡丹図 1,050円(本体価格1,000円) 10.5×2cm (丸谷焼) ① (3202)
- ⑤ T72117100-1081104 青郊窯 豆皿 古九谷青手瓢箪割松園 1,050円(本体価格1,000円) 10.5×2cm (丸谷焼) ① ○ (3202)
- ⑥ T88705060-108182 二色丸紋 重宝皿(R) 630円(本体価格600円) (有田焼) ① ▲ (2232)
- ⑦ HF49070-108194300 津軽びどろ 杵酒杯(RD金) 一客箱入 3,150円(本体価格3,000円) 140cc (日本製) ① (3606) ガラス
- ⑧ M50247380-108842 青風窯 染付文紋花鳥 取皿箱 3,990円(本体価格3,800円) (丸谷焼) ● (3202)

暮らしの品々 家族があっかい食卓がいい

「食育」という考え方は、社会にわたりやすく伝え、「共食」への場を聞いていくこと、それがくいきいよに食べよう活動。2011年11月21日、NPO法人食空間コーディネーター協会、副理事長 落合おとし氏を始め、フォーラム参加一役で「くいきいよ」宣言をしました。

日本陶彩株式会社は、TALKの考え方を引き継ぎ、経済産業省のご協力のもとに、わが国の心豊かさを食空間と生活文化の向上のための幅広い活動をおこなっている内閣府認定NPO法人「食空間コーディネーター協会」の活動に賛同し、企業委員として活動しております。

「うどんすきは蕎麦屋から生まれた」

美々の歴史は江戸時代末期に遡る。舟の魚問屋から始まり、後年、200年続いた科学旅館「耳野館」(愛・美や卯野店)となる。その末っ子であった薩摩平太さんが現横浜北詰に、大衆蕎麦屋を始めたのが大正14年、これが美々の始まり。「うどんすき」で名を馳せる美や卯野蕎麦屋から始まった。はじめから、絹にうどんを入れ、かしわや六子、海老、ハマグリなど147品種の具材と共に煮込むのがうどんすきのルール。さらに、季節の具材を追加し、旬を楽しむ。その薩摩卯一(当時主人)は「そばの本(1972年刊)」で、そばのお好みつき、「一般に開業は「もろそば」の好みがかく、関西は「かけそば」うどんの好みか強いので、毎日取っかきそばを比べると、自然に開業は「もろそば」のつが中心になり、厚もろがであるのに、関西は「かけそば」の醬口油と昆布の味に特色があるといえるだろう」と述べています。

出典:横浜路地 薩摩卯一「そばの本」栗田書店(1969)(3)用紹介

- ⑨ H16102080-108124 スターター(撫子) マグ Voice! 840円(本体価格800円) 径8.5×9cm (美濃焼) ① (0107)
- ⑩ T90289640-108188 オーロラピンチ すずは鉢箱 直火 6,720円(本体価格6,400円) 19×11cm (有田焼) ① (2213) 土
- ⑪ T87402050-108174 結び スプーン(赤) 525円(本体価格500円) 長径15.5cm (波佐見焼) ⑤ (2208)
- ⑫ T72573100-108173 晶皿とこすり 三組小付 1,050円(本体価格1,000円) 14×11×3cm (有田焼) ⑤ (2203)
- ⑬ T88703060-108182 水玉 重宝皿(R) 630円(本体価格600円) (有田焼) ① ▲ (2232)
- ⑭ T90241120-108130 夢色(なでしこ) 小鉢桃 1,260円(本体価格1,200円) 径12.5×5cm (波佐見焼) ⑤ (2201)
- ⑮ T90290310-108188 オーロラピンチ すずは鉢箱用台皿 3,255円(本体価格3,100円) 21×2.5cm (有田焼) ① (2213) 土

2月 鍋焼きうどん

がんばる私のほっこり鍋



Blossom Of Naoko 落合おとしの「12ヶ月の食卓」

「和季節」

1月 正月祝膳

2月 冬の夜

3月 ひいなあそび

4月 お取り寄せ

「千支供養の日」

「桜の日」

「日本版の二十四節気つくります」

「日本版の二十四節気つくります」

3/3 上七

5/5 焼骨

7/7 七夕

9/9 重陽

須藤陶彩工房 五穀粉を彩る心あふれる器を得意としています。

選上土支 毎月、お正月月別にその年の木の下を製作いたします。

やまの歴史年表

1860 文政13年 文文土器が焼かれる

1868 明治元年 文文土器が焼かれる

1873 明治6年 文文土器が焼かれる

1878 明治11年 文文土器が焼かれる

1883 明治16年 文文土器が焼かれる

1888 明治21年 文文土器が焼かれる

1893 明治26年 文文土器が焼かれる

1898 明治31年 文文土器が焼かれる

1903 明治36年 文文土器が焼かれる

1908 明治41年 文文土器が焼かれる

1913 明治46年 文文土器が焼かれる

1918 明治51年 文文土器が焼かれる

1923 明治56年 文文土器が焼かれる

1928 明治61年 文文土器が焼かれる

1933 明治66年 文文土器が焼かれる

1938 明治71年 文文土器が焼かれる

1943 明治76年 文文土器が焼かれる

1948 明治81年 文文土器が焼かれる

1953 明治86年 文文土器が焼かれる

1958 明治91年 文文土器が焼かれる

1963 明治96年 文文土器が焼かれる

1968 明治101年 文文土器が焼かれる

1973 明治106年 文文土器が焼かれる

1978 明治111年 文文土器が焼かれる

1983 明治116年 文文土器が焼かれる

1988 明治121年 文文土器が焼かれる

1993 明治126年 文文土器が焼かれる

1998 明治131年 文文土器が焼かれる

2003 明治136年 文文土器が焼かれる

2008 明治141年 文文土器が焼かれる

2013 明治146年 文文土器が焼かれる